

2006年8月30日

**地球と子どもの明日を考えるくガラスパワーキャンペーン>
～キャンペーン初の防災合わせガラス寄贈場所が山形県に決定～**

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）が2005年10月より開始したくガラスパワーキャンペーン>において、キャンペーン初の防災合わせガラスの寄贈場所が決定しました。寄贈場所は山形県内の指定避難場所で、約200㎡の防災合わせガラスを寄贈する予定です。

近年、地震や台風などの自然災害が多発し、割れたガラスによるケガや避難場所のガラスが割れて避難ができないなどの被害が発生しています。このような被害の発生防止には、割れにくく、また割れても破片が飛び散りにくい防災合わせガラスが有効ですが、その存在・有効性はまだまだ認知されていないのが現状です。当社は、建築用ガラス製造企業として、2005年10月より安全・防災・地球温暖化防止に向けたくガラスパワーキャンペーン>を開始し、このキャンペーンの一環として、防災機能を持った「合わせガラス」の普及及び認知向上のため、一般参加型寄贈活動「10×10プロジェクト」を展開しています。

「10×10プロジェクト」とは、キャンペーン専用サイトに日本地図を用意し一般の方から任意の都道府県をクリック（＝10cm×10cmの合わせガラスに相当）して頂き、クリック数が都道府県で20,000回（＝200㎡の合わせガラスに相当）に達した場合、その都道府県の指定避難場所に当社が防災合わせガラスを寄贈する活動です。今般、山形県のクリック数が20,000回を超え、キャンペーン初の寄贈場所となりました。なお、山形県をクリックした方へのアンケートを実施した結果、寄贈先は山形市内の指定避難場所とする予定です。

当社では、今後も参加者全員が実践者として自覚し積極的に実行する「参加型キャンペーン」を通じ、安心して安全な社会づくりに貢献していきます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：旭硝子（株）広報・IR室長 川上 真一

（担当：高橋 TEL：03-3218-5259 E-mail：info-pr@agc.co.jp）

◎ガラスパワーキャンペーン 事務局

（TEL：03-5610-0167 E-mail：glasspower@agc.co.jp）

<ご参考>

■ガラスパワーキャンペーン内容

【活動目的】

旭硝子板ガラスカンパニー日本事業部が率先して、<安全・防災・地球温暖化防止>に積極的に取り組み、安心してガラスをお使い頂ける日本にします。

【参加者】

旭硝子板ガラスカンパニー日本事業部社員及び、活動に賛同する企業や個人（インターネットでの申し込み）

【主な活動内容】

旭硝子板ガラスカンパニー日本事業部を中心に、<ガラスパワーキャンペーン>シンボルマークのもとに<安全・防災・地球温暖化防止>に参加者全員で積極的に取り組み実行しています。

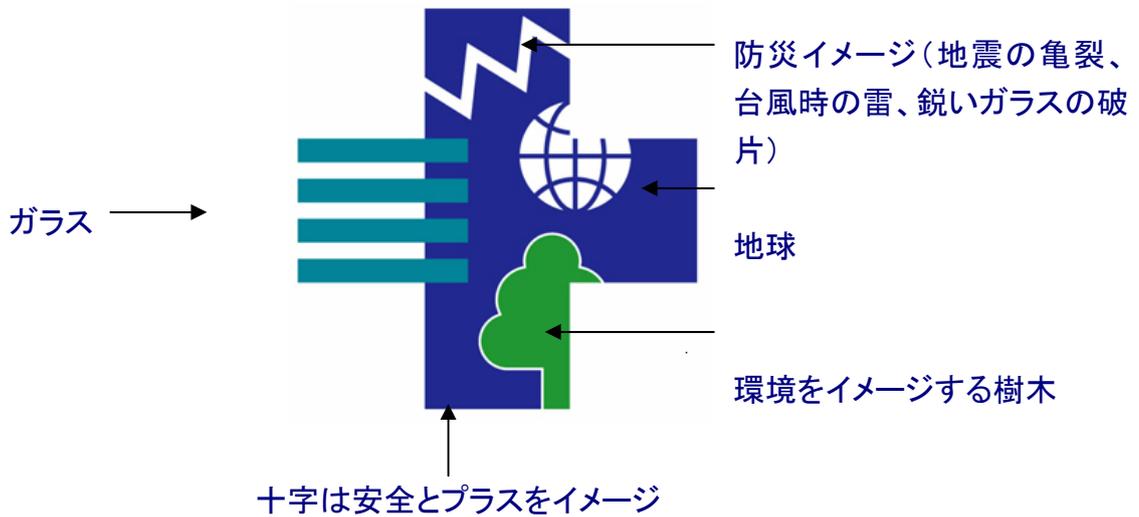
- <ガラスパワーキャンペーン>サイト（<http://www.glasspower.jp>）で、インターネットを主体としてメッセージを広く社会へお知らせしています。
 - ✓ 活動内容をご紹介します。
 - ✓ 一人でも多くの方にご参加頂けるようネット参加窓口とし、賛同者をご紹介します。
 - ✓ 活動内容を逐次ご報告しています。
- 旭硝子板ガラスカンパニーが率先して活動を実行しています
 - ✓ 指定避難場所へ合わせガラスの寄贈
 - ◇ ガラスパワーキャンペーンサイトから、ワンクリックで一般市民の方々にご参加頂き、各地の指定避難場所へ旭硝子が防災ガラスの寄贈をします。
 - ✓ 小学生を対象に、出張授業等の実施でガラスを知って頂きます
 - ◇ ガラスパワーサイトで出張授業内容をお知らせし、出張授業のご依頼を受け実施していきます。
(山梨県甲府市玉緒小学校で2005年12月に一回目の出張授業実施)
 - ◇ ガラスパワーサイト上のバーチャル工場見学を通して子供たちのガラスへの興味を促進します。
 - ✓ 災害時の敏速な支援活動
 - ◇ 各地の旭硝子拠点での被害を最小限にする改善を積極的に実施します。また、万一の被災時にも地域住民の方々をご支援できるように努力します。
- 地域社会の防災活動等へ積極的参加
 - ✓ 地域の防災訓練等へ積極的に参加協力します。
- 職場でのECO活動
 - ✓ クールビズ、ウォームビズ、ペーパーレス、節水節電等のECO活動を積極的に実施します。

【活動期間】

2005年10月24日より2年間の予定。

【シンボルマーク】

明日のためにガラスができること^{のマークのデザイン}



【10×10プロジェクト 画面イメージ】

